



平成 27 年 12 月 22 日

各 位

会 社 名 内外トランスライン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 常 多 晃  
(コード番号：9384 東証一部)  
問 合 せ 先 取 締 役 三 根 英 樹  
経 営 企 画 部 長  
(TEL 06-6260-4800)

### 韓国子会社における物流倉庫の建設着工に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 6 月 2 日付「韓国における合弁子会社の設立完了に関するお知らせ」にて公表いたしました韓国企業「銀山海運航空株式会社」との合弁会社「内外銀山ロジスティクス株式会社」の倉庫建設準備を進めてまいりましたが、本日、平成 27 年 12 月 22 日、現地にて起工式を執り行うとともに倉庫建設に着工いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 合弁会社設立等の経緯と目的

当社グループは、平成 26 年 1 月より平成 28 年 12 月に至る中期経営計画を策定しており、当社の主力事業である混載貨物輸送事業に加え、航空貨物輸送、国際複合一貫輸送、通関事業、倉庫事業等の事業領域を拡大し、国際総合フレイトフォワードラーとしての地位と業績を確立する計画を遂行中であります。

このたびの釜山新港背後地における物流倉庫の建設は、当社グループが現在、インド等海外で手がけている海外倉庫ビジネスをさらに発展させ、将来的に貨物輸送事業と並ぶ新たな柱へと育てていくことを目的としており、現地有力企業「銀山海運航空株式会社」をパートナーとして合弁会社を設立し、共同して当該事業を推進しております。

当該物流倉庫は、約 5,300 坪の一般倉庫のほか 15℃から 25℃の範囲で設定可能な定温倉庫及び化学品や危険物等の保管・取扱いができる危険物倉庫を装備した多機能倉庫となっております。今後は、北東アジアのハブ港として世界有数のコンテナ扱い量を誇る釜山新港の背後に位置する立地の優位性を活用し、当社グループ物流サービスの拠点としてお客様へより高次元の輸送サービスを提供すべく努力してまいります。

#### 2. 建設する倉庫の概要

(1) 倉庫名称	内外釜山倉庫
(2) 所在地	大韓民国慶尚南道昌原市鎮海区釜山新港熊東地区内
(3) 土地面積	約 10,000 坪
(4) 倉庫面積	・一般倉庫 5,330 坪（低床、高床） ・野外野積場 4,000 坪 ・他に定温倉庫及び危険品倉庫完備
(5) その他	・自由貿易地域（FTZ）指定区域であり、法人税等の税制優遇措置を申請中であります。

3. 設立した合弁会社の概要

(1) 商号	内外銀山ロジスティクス株式会社 (英語名: NAIGAI-EUNSAN LOGISTICS CO., LTD.)	
(2) 所在地	上記倉庫所在地に同じ	
(3) 代表者	岩貞 均	
(4) 事業内容	倉庫事業(日韓物流貨物の保管、船積、物流加工等) 貨物運送業、複合運送幹旋業、通関代行業ほか	
(5) 資本金	80億ウォン	
(6) 設立年月日	2015年6月1日	
(7) 資本構成	内外トランスライン株式会社(当社)	70%
	銀山海運航空株式会社	30%

4. 今後の予定

倉庫建設着工	2015年12月
倉庫竣工予定	2016年9月
事業開始予定	2016年10月

5. 今後の見通し

本件が当期の連結業績に与える影響は軽微です。また、来期以降において、業績への影響が重要なものとなる場合には、判明しだい速やかにお知らせいたします。

倉庫完成予想図



起工式の様子



以上